

表14 創傷保護パッド貼付群と対照群の褥瘡の大きさの記述統計量

観察時期		開始日		1週間後		2週間後		3週間後	
群		対照	パッド	対照	パッド	対照	パッド	対照	パッド
例数		9	6	0	6	9	6	0	6
対数 log(mm <sup>2</sup> )	平均値	3.2668	3.2690		3.1199	3.1525	3.0237		2.8865
	標準偏差	0.1505	0.1663		0.2214	0.1982	0.2879		0.2636
	最大値	3.477	3.439		3.359	3.462	3.320		3.261
	最小値	3.051	3.015		2.845	2.903	2.544		2.544
真数 mm <sup>2</sup>	平均値	1848.3	1858.0		1317.9	1420.6	1056.0		770.0
	最大値	3000	2750		2288	2900	2091		1824
	上側四分位点	2450.0	2472.1		1930.0	2090.0	1649.8		1030.0
	中央値	1980.0	2021.0		1486.9	1560.0	1254.6		842.9
	下側四分位点	1540.0	1484.9		847.6	950.0	780.3		497.5
	最小値	1125	1034		700	800	350		350

観察時期		4週間後		5週間後		6週間後	
群		対照	パッド	対照	パッド	対照	パッド
例数		9	6	0	5	9	4
対数 log(mm <sup>2</sup> )	平均値	3.0556	2.8085		2.6936	3.0189	2.6308
	標準偏差	0.1914	0.2881		0.4237	0.2109	0.5577
	最大値	3.380	3.301		3.315	3.342	3.217
	最小値	2.732	2.519		2.176	2.763	1.903
真数 mm <sup>2</sup>	平均値	1136.6	643.5		493.9	1044.4	427.4
	最大値	2400	2000		2067	2200	1650
	上側四分位点	1485.0	779.7		722.0	1250.0	887.7
	中央値	1178.0	619.8		375.0	1134.0	502.7
	下側四分位点	806.0	388.6		350.0	660.0	242.0
	最小値	540	330		150	580	80

表15 創傷保護パッド貼付群と対照群の褥瘡の大きさの経時測定型分散分析

ソース	分子の自由度	分母の自由度	F	有意確率
切片	1	13.26	2945.59	5.77E-17
研究	1	14.31	2.97	0.106
観察週数	6	51.51	13.46	4.11E-09
研究*観察週数	3	51.52	3.60	0.0195

a. 従属変数: log(褥瘡の大きさ)

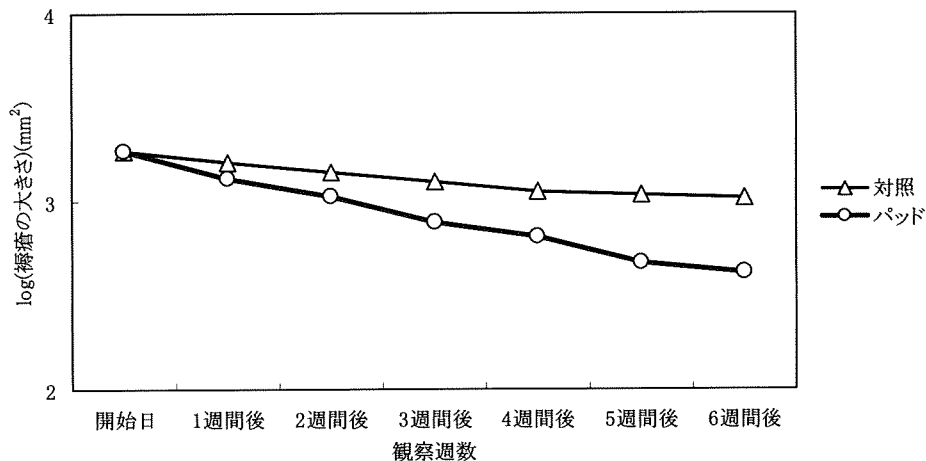


図6 創傷保護パッド貼付群と対照群の褥瘡の大きさの推定平均の推移図

研究成果の刊行に関する一覧表

研究成果の刊行物・別刷

研究成果の刊行に関する一覧表

書籍  
なし

雑誌  
なし

研究成果の刊行物・別刷

なし

厚生労働科学研究費補助金長寿科学総合研究事業

## 褥瘡の予防と治療に関する研究

1) 栄養介入の効果の検討

2) 保護機材の効果の検討

平成 21 年度 総括研究報告書

平成 19 年度 ~ 21 年度 総合研究報告書

---

発行日：平成22（2010）年5月

主任研究者：大浦 武彦

連絡先：医療法人社団 廣仁会 褥瘡・創傷治癒研究所

